

令和5年度 学校教育自己診断結果について

以下の示すパーセンテージは、肯定回答率である。

項目1「金剛高校の教育に満足している」について、2年連続減少し、73.7%となった。全学年とも減少にあり、早急に対応を講じる必要があると感じる。以下に、質問項目に応じて、その理由を分析する。

項目2「コース・系や授業は自分の将来に役に立つと思う」84.0%

項目14「生徒の興味・関心・適性・進路に応じて選べる科目選択がある」82.6%

これらの項目は、3年間で減少している。

項目8「授業はわかりやすく、生徒の学習意欲が高まる工夫がされている」66.8%

項目9「授業は、生徒の学力を伸ばすために工夫が感じられる」72.8%

項目11「生徒の学力を伸ばすための熱意のある先生が多い」71.3%

これらの項目は、微増しているが、7割程度にとどまっている。

項目10「授業は静かで、勉強に集中できる状態である」67.8%

この項目は、微減した。

項目8から11の授業に関する項目が、7割程度の生徒が肯定的な回答をしているが、納得感を得ている生徒が減っていると感じる。生徒のニーズに応じた授業展開やカリキュラムが筆意用であると思われる。

項目18「進路について考えるため、学校は必要な情報や機会を提供している」86.0%

項目20「進路相談やホームルームなどで、熱心に進路指導している」73.2%

進路指導に関して、例年通りに計画、実行されているが、数値としては減少している。生徒の受け止め方が変化しているとも考えられるので、やり方を改良して、生徒のニーズをさぐり、今の生徒に合った進路指導をする必要がある。

項目26「遅刻・頭髪・服装・原付免許の指導は、自分や全体のことを考えると適切だと思う」60.9%

項目27「学校生活全体に対する先生たちの指導は、自分やみんなの将来を考えると適切である」68.8%

生活指導に関して、減少しており、6割程度の肯定回答しか得られなかった。指導内容は変更していないため、生徒が納得をして、指導をうけていないことが見受けられる。納得感のある指導が必要であると思う。

項目5「教室・特別教室・運動場などは、学習や生活がしやすいように整備されている」77.6%

項目12「教室はきれいで、授業をするのにふさわしい環境である」69.1%

学校環境について、環境整備についても、減少している。日々の清掃はもちろん、修繕が必要な個所を見つけ、改善する必要がある。

項目 2 9 「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる」 68.0%

教育相談について、7割弱の生徒しか、肯定回答をしていない。安全で安心な学校づくりをするにおいて、この項目の肯定回答が上昇するように、より多くの生徒が安心できる場を作る必要がある。

項目 3 0 「学校は部活動に積極的に取り組んでいる」 74.0%

項目 3 3 「学校行事(体育祭・文化祭・修学旅行など)は楽しく行えるよう工夫されている」 86.1%
特別活動において、やや減少している。部活動への加入率の減少している。

以上のような理由で、項目 1 「金剛高校の教育に満足している」の肯定回答の減少が止まらない理由であると考えられる。

一方で、上昇している、もしくは、増減が少ない項目もある。

項目 2 1 「クラスやクラブは一人ひとりが尊重され、気軽に話せるような集団である」 83.0%

項目 2 2 「人権について学ぶ機会があり、さまざまな人権問題が理解できるように工夫されている」 87.2%

項目 2 4 「先生はいろいろな問題(いじめ等)を見逃さず対応してくれ、相談に親身になって応じてくれる」 80.7%

項目 2 5 「ホームルームや探求学習(「発見」など)で、生き方や将来について考える機会が十分にある」 87.6%

これらの項目は、ホームルーム活動や総合的な探究の時間(発見)での活動に対して、一定の理解がされていると思われる。